

ながの環境パートナーシップ会議
平成22年度第10幹事会 会議記録

日 時 平成23年2月14日(月)18時10分から20時10分

場 所 会議室6(市役所第二庁舎4階)

出席幹事 6人

(弓場、金井、高木、渡辺、中村、安藤)

欠席幹事 1人

(水野)

会議内容

《協議事項》

- 1 生ごみチームのチーム名変更について
「生ごみの削減・再利用システム構築プロジェクト」から「生ごみの削減・再生利用プロジェクト」に変更することが承認された。
- 2 信州エコ大賞について
推薦書を事務局で作成し、3月の幹事会で確認のうえ、パートナーシップ会議を候補として出すことになった。
- 3 豊かな環境づくり長野地域会議入会について
入会申し込みをすることが承認された。
- 4 生物多様性地域懇談会開催について
当日のスケジュールと役割分担・準備品について確認した。
- 5 新入会員パックの内容について
パンフレットの内容について、持ち帰りいただき、訂正や追加等メールでいただき、次回の幹事会で再度内容検討することになった。
- 6 キャラクターデザインの審査について
審査要領案について協議した。詳細は **主な意見・質疑等**参照。
- 7 運営方針案・予算編成方針案・書式について
案の内容について検討。詳細は **主な意見・質疑等**参照。

《報告事項》

プロジェクトチーム活動報告
(トレイ・レジ使用削減、市民の森づくり)
活動記録票により報告

ボランティア活動見本市への参加について
参加について、事務局でポスターを作製し、参加することとした。

今後の日程等

- 1 第11回幹事会
(1) 日時・場所：3月10日(木)18:00～ 会議室16(市役所第二庁舎9階)
(2) 内容：キャラクターデザイン審査検討、23年度予算ほか。
- 2 第12回幹事会 (23年4月5・6・7日で調整予定)

3 平成23年度総会 (23年6月4日土曜日を予定)**主な意見・質疑等****1 生ごみチームのチーム名変更について**

- ・今まで「生ごみ削減・再利用システム構築プロジェクト」だったが、「生ごみ削減・再生利用プロジェクト」に変更したい。あまり長いので、短くしたい。幹事の方のみなさんの承認をいただきたい。

この件については過去にも事例があるということだったが。 学校版EMS
基本的にはチームで決められたことなら良いのではないかと承認

2 信州エコ大賞について

- ・応募するかどうか、応募するとしたら推薦書を書くのは難しくないが、マスコミの報道のコピーの添付は大変ではないか
全部のプロジェクトをとってあるわけではないが、いくつかは事務局で把握している。

歴史的な経緯が分かるものと、最近の活動でいいのではないかと。受賞者の総覧が出ている。受賞すると表彰されるだけなのか。

副賞ありとなっている。

受賞は企業が多いようだ。

何をもってP会議を推薦するのか。自分たちの活動の中で、それを何にするかで出すか出さないか決まってくるのでは。こういう団体が受賞しているのはあまりない。

これまでの実績はある。トレイ・レジや森づくりも学校版も光害も。光害はその概念さえ無かったのにかなり浸透してきている。P会議ではそういうチームを抱えながらかなりの成果をあげているところもあるし、まだのところもあるが、そういうものを総括して書けばいいのではないかと。

では、推薦書を事務局で作成し、メールでご覧いただきながら次回の幹事会で内容を決定し、提出に間に合わせたい。

推薦は必要なのか。

自薦他薦問わないとあるので、候補者名だけでいいと思うが。環境保全協会に確認して必要であれば推薦者をどなたかをお願いする。

3 豊かな環境づくり長野地域会議入会について

- ・入った場合は、P会議からそこに出席する人が必要になる。チームの活動を超えている内容になっている。

会議の開催は年に1回くらいのような。運営会議と5月に総会がある。

総会だけ出席でいいのか。運営委員になることもあるか。

それは分からない。地方事務所におけるP会議だと県の担当は言っていた。青年会議所などから情報が入って来ないし、環境づくりで私たちは活動しているのだから入ってもいいのではと思う。

「連携したい先」も結構入っている。

NPOも入れるようだが、今は入っていない。P会議は合っているのではと思う。P会議が入ればこの地域会議の雰囲気も変わるのではと思う。昔からのこのネットワークしかない。

会員の中に長野市校長会がある。おそらく校長会の環境を担当する人が出てくるのではと思うが、そこでなにかつながりが出来ないかと思う。

入ることで、P会議の存在もアピール出来るのではないかと思う。

義務的なものとしては、ごみゼロ運動や空き缶ごみ拾いが発生するかも。

レジ関係は出ている。

4 生物多様性地域懇談会開催について 特になし

5 新入会員パックの内容について 特になし

6 キャラクターデザインの審査について

- ・審査の投票方法はどうか。

あくまでも、ここは3作品を選ぶことに目的があって、3作品の順位付けはあまり意味を持たないということか。

そのとおり

専門学校の先生に審査を頼むが、その役割をどうするか。

この前も言ったが、素材そのものは良くてもこのままだとキャラクターにはなりにくいけどプロの手をいれることですごくいいものになることがある。そういうことに対してのコメントをしていただいて、そのコメント付で最終投票をすればいいのでは。そうしないと、すごくいいけど、この絵じゃだめというのが落ちてしまう。

それは、3作品を選んだ後？

それぞれの作品に特徴なりを作品全てにやってもらえればいい。投票するときに判断しやすい。

枚数20枚くらいならいいが、生ごみのときは相当な数だった。

枚数少なければ全部に簡単なコメントをつけてもらえば。多い場合はまず幹事で選んで、コメントをつけていただいて再投票してもいいと思う。そのあたりは臨機応変にやらないと。

賞金はどうだったか。

要領には載せてあるが、2月1日号の広報ながのでは載せられなかった。

(副賞は最優秀賞図書カード1万円分、優秀賞5千円分)

会員への広報はしなくていいか。

ホームページには載っている。新聞とか週間長野はどうか。

週間長野には載せるようにする。

最終審査でEメールを使えない人にははがきで最終審査としているが、デザインをどうやって知らせるか。ホームページは見られないだろう。

デザインをカラーコピーしてお送りするしかないか。

対象はどのくらいいるのか。

10人かそのくらい。(チームに所属しない人で、Eメールを使えない人)

往復はがきに印刷できないか。

ちょっと小さすぎる。A4にスキャンしてそれを送り返してもらうようにすれば。

投票期限の5月9日が遅いかもかもしれないというのは、次の新しい年度から使うのには遅いということか。

5月の幹事会で最終決定をして、6月の総会のとときに表彰式をするのなら、受賞者に通知をだすのが遅くなるかと。応募の締切は3月21日。第一次審査を4月の幹事会でやると、会員の最終審査の投票期限は4月いっぱいか。

3作品からひとつ選ぶだけだから、そんなにかからない。

4月の幹事会をいつやるか決まっていらないが、20日くらいでも大丈夫か。

4月22日は金曜日。

プロの手が入るのなら、3日でやれというわけにもいかない。

表彰式のとときには手をいれた状況で発表したい。

そのときに新しいパンフレットを出したい。キャラクターだけをはめられるようにしておいて。

以上の意見を審査要領に反映し、3月の幹事会で決定する。

7 運営方針案・予算編成方針案・書式について

- ・3番は動き出してからになるか。

専門のプロジェクトチームを作ってやらないと動き出さないのではという意見だった。それだけをやるチームを作らないと無理なのではということだった。

予算編成方針の3は削除したほうがいいか。

当初は場とヒトを確保することを検討することを前提で載せた。チームを立ち上げるだけならそんなにお金はかからない。これは幹事会の予算に吸収するか。

とりあえず、何をしてどのくらいのお金がかかるのか検討するのであればそのための予算はほとんどいらぬ。

それでは、予算編成方針の3は削除する。

しかし、おそらく「プロジェクトチーム」という形では難しく、専任のスタッフがやるくらいでないといけないかもしれない。そのあたりもプロジェクトチームに検討してもらおう。

チームをどのように編成するかが問題。

公募で集めるか。会員と外から公募してもいいか。

「外の人」は、つながれる方の人でこういうのだったらつながってもいいという意見を言ってもらえるか。

本当にやる場合にはつなく人・調整役は技術が必要。その辺もプロジェクトチームで検討してもらわなければいけない。

つなく役割の人を作るのではなく？

チームでは、その役割の人も含めて考える。

- ・書式案について、目的・目標があいまい、言葉の使い方。だが、違和感は無という意見もあった。

2007年の目標などを参考にしてこの書式を作ったが、2007年には、目標と現状と原因と行動計画、行動指針、数値目標があった。一番最初のアジェンダプロジェクトでは目標は行動計画の中に入っている感じで、目的のあとに目標があると渡辺先生は言っていたが、多分目的は自分が考えるのは「理想の街」なのではないかと思ったが、2007年ではその「理想の街」が目標になっている。

その辺があいまいになってしまったようだ。当初の目標は「理想の街」とは別にあったのだろうか。でも、理想の街はこのままあったほうがいいが、当初の「理想の街」と「目標」とはどういう関係なのか。具体化したものなのか。企業ではビジョンがあって中長期の経営計画があると思うのだが。

一番上にくるのは達成したいもの、そのための行動に移すための目標、計画があってそれが行動計画。

ビジョンを達成するために中長期でどういうことをやっていくか。

スローガン。

たとえば「学校で成績5をとりたい」というのはビジョンか。

それはちょっと違うのでは。

成績5をとるために「ノートに一日何個づつ書く」というのは行動計画。それが直接5につながるかは分からないが仮説をたててやってみる。うまくいかなければ別の方法を考える。

まず、やったことの確認をする。そのたてた目標は良かったのだろうか。やれたのか、やれないのか。やれてないのなら徹底してやる。間違っていればもう一度計画を作り直す。

そうすると、ビジョンや目指す姿などは「理想の街」で良くて、それは目標とは言わないのか。

言わない。

前は目標と数値目標があったが、目標を入れたほうがいいか。

見直しのとき、落とした経緯があったはず。

同じようなことが載っているからか。「理想の街」と「目標」で。すると、「理想の街」と「行動計画」と「数値目標」があれば良さそうか。

先に行動計画があって次に数値目標になる。書式では逆。

これからのアジェンダの見直しの中で整理していくとして、あくまでもこれは次年度の活動計画と予算策定の資料だから、とりあえず「理想の街(目指す姿)」にして数値目標と行動計画を入れ替えてすすめるのはどうか。数値目標を参加人数に変更した経緯があると、説明会で話があったが、これは完全になったのか。

ある時点から数字を全部入れるようになった。

市民の森はそれまで行事の開催回数を書いていた。どのくらい参加してどういう活動ができたのか、効果を見るには参加人数にしようということになった。

総合計画でパートナーシップ会議は何人と書かれているからそうだったのでは。

(そのとおり。H23年度の目標は3,000人となっている。)

基本計画も総合計画も活動の成果を何で量るかといった場合、P会議の趣旨から考えるとそれに参加した人数で広がりを見ていくのがやりやすいということだと思われる。ならば、参加人数を加えたほうが良いということか。必ずしも参加人数だけということではなくて、参加人数もないと全部のプロジェクトを足しあげたときの評価がしにくい。それからいくと、P会議のトータルの参加人数を一つの指標としてみている。だけどそれぞれのチームの中では別の指標をとってくださいと。二本立てにしてくよりしょうがない。

数値目標の右端に「目標参加人数」をいれておけば。

アジェンダとのすり合わせの話は、アジェンダの見直しのときにここに書いてある行動計画はローリングするということで、固定的にとらえずに毎年その先3年をとらえるという形で。

- ・ 予算配分について、具体的に指示がないと組めない、という意見があった。外部団体の助成予算とP会議全体としての活動予算、イベントを立ち上げる時の予算など、どのくらい確保するか。

チームはチームで、外部団体はまた別に予算を作るということでもいいのか。

よその団体の認定をするのがどこまでやるのか。その分を確定して予算を立てることは出来ないのではないか。

たとえば、250万のうち、60万を枠として他団体への助成にまわす。それに対して募集をかけてプレゼンテーションしてもらって承認した団体に予算を渡す。その分はチームへの配分は減るということ。

パートナーシップ会議の活動の底辺を広げていくのであれば、少ない予算の中から配分してそういうチームが増えるのはいいこと。

ちなみに、21年度予算は総額347万円。決算が226万円。120万円ほど繰越をしている。21年度プロジェクト活動費の決算が約110万円。22年度は新規プロジェクトができたので変更の可能性があるが、約150万円の支出かと思われる。プロジェクト活動費と、P会議全体予算と外部団体への助成、予備費の4つの予算枠は必要かと思われる。23年度の概算予算で4つの枠を事務局で作ってメールで皆さんにご意見をお聞きした上で3月の幹事会で配分を決めてチームリーダーにこれで予算を作ってもらおうようにお話できるかと思うが、いかがか。

総枠が決まらないと、ということか。だが、150万円位あればチームの予算は足りるということでいいか。

活動費の支出が21年度並なら、そのくらいで大丈夫かと。計算してみないと、はっきりとは言えない。

H22の予算は？

376万円。繰越入れて。

プロジェクトチームがあげてきた予算はいくらか。

21年度は225万円。21年度決算は110万円。22年度予算は233万円。

場合によっては補正予算でやることも可能。とりあえず全体の6割くらいで予算をくんでおいて、あとで必要なときには補正がかけられるようにして、声をかけてもらえば。補正の権限は幹事会にある？総会？

通常は総会。なので、予備費をとっておけば、そこから流用できる。

かといって、予備費をそんなに大きくするわけにもいかない。

ただ、この予算も、来年以降も続くかどうかは分からない。

このお金があるときがチャンス。今後のことを考えながらつなぐことも考えるいい時期。企業も苦しくなってきたときにはもうどうしようもない。余裕のあるときに投資をしておかないと。

P会議全体のシンボル事業の予算と予備費の確保が必要。

しかし、ある程度何をやるかということが決まらないと組めない。

今度は活動計画の実行率を計っていかないと。計画だけしてなにもやっていないのはどうか。

そのあたりは監事からも厳しく言われている。

計画していても、他の事業にすりかわってしまったり、途中で方向転換したりする。

幹事会としての、全体のこの行動計画も作らなければいけない。

今年、P会議は10周年。

10年の記念講演会とかをやるか。

ただ話を聞くだけでは人が集まらない。それより、プロジェクトの活動の発表をもっとしっかりした形でやって、一般の方がくるようなしかけをして。

午前中からやって、お昼にお弁当とか出して。

基本的に飲み食いは自分持ち。

ソーラークッカーで作ったらいいのではないか。

ポスターセッションでやるのもいいのではと思う。

文化祭形式でやるのもいい。

文化祭でやると、全部のチームのが聞けなくなる。3グループくらいに分けて発表するのも悪くない。

3月まで待たほうがいいのか、方針を出したほうがいいのか。

実際どのくらいかかっているというのを出して5割をプロジェクト予算としてかけさせていただいて、どうしても必要なものは、10月位に声をかけさせていただいて一括審議して流用することにすれば。

では、外部団体への助成の予算はどうするか。30%は多いか。

それは多い。60、70万円くらいだろう。

1団体20万円の助成はかなりの額。今のプロジェクトチームの予算が1チーム10万円位(平均)すると、それ以上の助成をするのはいかなものか。

一過性のイベントみたいなものの助成をどうするか。

それは説明会のときに、継続性のあるものを前提とするとお話した。

では、具体的なことは次の幹事会でいいか。

とりあえず、事務局で実績が分かるものをお示しして、枠を作って説明できる形にして、幹事の皆さんにメールで流すので、3月の幹事会で決定する。

その他

子どもの環境学習支援プロジェクトのホームページ開設について

支援プロジェクト専用のホームページを作り、Pホームページからリンクを張っていけるようにしたい旨渡辺チームリーダーからお話が弓場代表幹事にあった。現在、市民の森チームがこの方法で作成しているが、同じ形で作ることが了承された。運営方針等説明会の際に、国際ユース会議へのP会議への支援についてや支援プロジェクトのユース会議への参画について渡辺リーダーからお話があったが、今後この活動についてもHP上でお知らせしていく。

予算流用について

市民の森チームの昨年行った総会の会場使用料について、予算には計上されていないが、需用費から流用して支出する旨承認された。また、トレイ・レジチームの篠ノ井市民会館使用料についても、運営費から支出としているが、これを同じく需用費から流用して使用料から支出することが承認された。